

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公開番号】特開2015-192378(P2015-192378A)

【公開日】平成27年11月2日(2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-067

【出願番号】特願2014-69412(P2014-69412)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月24日(2017.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部装置とネットワーク経由で通信する撮像装置であって、

被写体を撮像する撮像手段と、

前記撮像手段で撮像された映像を符号化するための符号化手段と、

前記符号化手段に用いられる符号化方式を含む符号化方式情報の設定に用いられる少なくとも2種類の符号化方式設定コマンドを前記ネットワーク経由で受信するための受信手段と、

前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報を異なる一以上の符号化方式情報に変換するための変換手段と、

前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報と前記変換手段で変換した符号化方式情報を記憶する記憶手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記受信した符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報を異なる符号化方式情報に変換可能か否かを判別する判別手段をさらに備え、

前記判別手段で可能と判別された場合には、前記受信した符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報を前記異なる符号化方式情報に変換することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記判別手段にて否と判別された場合には、エラーを外部装置に通知する制御部をさらに有することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記変換手段は、前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報の記述形式を異なる記述方式に変換することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記記憶手段は前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報と前記変換手段で変換した符号化方式情報の各々に対応する記憶部を有し、

前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報と前記変換手段で変換した符号化方式情報は各々に対応する記憶部に記憶されることを特徴とする請求項1乃至4のい

ずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記符号化設定コマンドには第一と第二の符号化設定コマンドが含まれ、

前記第一の符号化設定コマンドにより設定される符号化方式は前記第二の符号化設定コマンドにより設定できることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記第一の符号化方式設定コマンドにて設定できる符号化方式として、JPEG、MP-E-G 4、H.264 を含み、

前記第二の符号化方式設定コマンドにて設定できる符号化方式として、JPEG 2000、H.264 Progressive High Profile, H.265 の内の少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記受信手段は前記記憶手段に記憶されている前記符号化情報と前記撮像手段を制御する制御パラメータを関連付けるための配信設定情報に、前記受信手段で受信した符号化情報を関連付けるための符号化設定情報追加コマンドを受信することができ、

前記変換手段は前記受信手段で符号化方式設定コマンド又は前記符号化設定情報追加コマンドを受信した場合に前記変換手段における変換を実行することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

外部装置とネットワーク経由で通信可能な撮像装置を制御するための制御方法であって、

前記撮像装置において被写体を撮像させる撮像ステップと、

前記撮像ステップで撮像された映像を符号化させるための符号化ステップと、

前記符号化ステップに用いられる符号化方式を含む符号化方式情報の設定に用いられる少なくとも 2 種類の符号化方式設定コマンドを前記ネットワーク経由で送信するための送信ステップと、

前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報を異なる一以上の符号化方式情報に変換させるための変換ステップと、

前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報と前記変換手段で変換した符号化方式情報を記憶させる記憶ステップとを有することを特徴とする撮像装置を制御するための制御方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のコンピュータプログラムを記憶したコンピュータで読み取可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、外部装置とネットワーク経由で通信可能な撮像装置であって、被写体を撮像する撮像手段と、前記撮像手段で撮像された映像を符号化するための符号化手段と、前記符号化手段に用いられる符号化方式を含む符号化方式情報の設定に用いられる少なくとも 2 種類の符号化方式設定コマンドを前記ネットワーク経由で受信するための受信手段と、前記符号化設定コマンドにより設定される符号化方式情報を異なる一以上の符号化方式情報に変換するための変換手段と、前記符号化設定

コマンドにより設定される符号化方式情報と前記変換手段で変換した符号化方式情報を記憶する記憶手段とを有することを特徴とする。